



- P2 賛否一覧
- P3~5 常任委員会代表質問
- P6 議会出前講座
- P7 常任委員会活動報告
- P8 要望書、編集後記

令和2年 **6** 月議会
第**61**号

議会だより

■ 標題は福富小学校6年 筒井結絆さんの作品です



■ 表紙は「白石小学校 6年生、23人の仲間たち」の作品です。
テーマは「コロナに負けるな！佐賀の名物で応援しよう！」



総務常任委員会代表質問



左から重富邦夫、定松弘介、内野さよ子、片刈栄二郎、溝口 誠、片刈彰 質問は、溝口 誠議員、重富邦夫議員がおこないました。

問 感染症対策における危機管理は

答 対策本部を設置し、段階ごとに対策を講じた

議員 新型コロナウイルス感染症に係る危機管理と住民対応など次のことについて問う。
 ①危機管理方針と避難所における対策
 ②感染に不安を感じる方への各種相談窓口の周知
答 ③町有施設や職員の影響予防対策
 ④町税の納税猶予と相談体制
 ⑤人権に配慮した対応と啓発
総務課長 危機管理においては、新型コロナウイルス感染症対策本

部を設置し、段階ごとに感染防止対策を講じてきた。また、避難所にマスク、消毒液、体温計、簡易ベッド、防災マットを補充する。避難所においては、3密を避ける対策をマニュアル化している。感染への不安を感じた方については、しっかりと聞き取りながら、関係機関を案内し不安の解消に努めた。町有施設は、4月20日から全て利用を禁止していた。6月から一部の地域の方の利用を除き制限は解除した。職員には出勤前の検温やマスク着用、行動履歴の記録を義務づけており、庁舎内では換気の徹底や消毒液による清掃を行いながら、感染予防に努めた。
税務課長 税制上の特例により、新型コロナウイルスの影響により事業等に係る収入に相当の減少があった場合

は、納期限から1年間町税の納税猶予を受けられた。また、ホームページや納税通知書の発送時に特例制度のお知らせを記載するなど周知に努めている。なお、相談の際には、プライバシーを考慮し、会議室を利用しながら個別対応をとる。
町長 人権侵害のないよう、正しい情報に基づいた冷静な対応を求めている。また、ケイブルテレビや広報紙により呼びかけてきた。防災行政無線でも町長メッセージとして伝達してきたところである。誰もが感染する危険がある中において、今後も正しい知識をもつて予防することなどの確かな情報を提供し、人権への配慮を呼びかけていく。

問 経済対策の財源確保の方策は

答 基金の取り崩しや地方創生臨時交付金を活用していく

議員 経済対策の財源確保や各種事業への影響など次のことについて問う。
 ①国民1人あたり10万円が給付される特別定額給付金の進捗状況
 ②行事やイベントの判断基準
 ③本町独自の経済対策に係る財源確保
 ④各種事業進捗の遅れに伴う住民生活への影響
議員 経済対策の財源確保や各種事業への影響など次のことについて問う。
町長 これまでの経済対策に約3億円を基金から取り崩して対応している。国の地方創生臨時交付金の対象事業となる場合は、基金へ繰り戻したい。直接住民生活に与える影響が少ない事業は、先送りするなど財源を捻出していきたい。
総務課長 イベントの中止や延期に係る判断基準は、緊急事態宣言の解除による県の指示方針に準じて判断することとしている。各地区における会合等においては、新しい

感染症対策や経済対策の業務により職員には相当な負担がかかっているが、住民サービスに影響のないよう町職員が一丸となり、この難局を乗り越えたい。

6月定例議会概要

令和2年第5回白石町6月定例会は、6月12日から17日までの日程により開催された。町長から、条例改正や農業委員会委員に係る人事案件、経済対策に係る補正予算など追加議案も含めて41件の議案が提出され、各議案は可決又は同意された。

(片刈栄二郎議長の開会のあいさつ)

今6月定例会は、新型コロナウイルスの影響により、先の3月定例会、5月の2回の臨時会と同様に、緊急事態における議会の役割とその運営について、議会としても議論を重ねながら通常と異なる形で開催したところです。6月議会は常任委員会の代表質問を行いました。一般質問の取りやめは議長として断腸の思いでございました。まず第一に感染症拡大防止と町民の皆様への経済支援を速やかに実施することと考えており、今後も議会は、執行部と一丸となって新型コロナウイルス対策に取り組んで参る所存であります。

感染拡大を予防する「新しい生活様式」の実践を推奨されています。生活様式を変えるということは非常に難しいことですが、お互いの命を守るため、町民の皆様、そして、議員や町職員におかれてもご協力くださいますようお願い申し上げます。

結びに、医療従事者・関係機関の長期にわたる 献身的なご努力に敬意を表しますとともに、一日も早く感染拡大が終息し、平穏な日常が戻りますよう祈念申し上げます。



賛否一覽

賛成 …… ○ 反対 …… ● 欠席 …… 欠

議案番号	議案	結果	議員															
			友田香将雄	重富邦夫	中村秀子	定松弘介	川崎一平	前田弘次郎	溝口 誠	大串武次	吉岡英允	片刈 彰	草場祥則	井崎好信	内野さよ子	西山清則	溝上良夫	
5月29日臨時会	27	専決処分の承認 (税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	28	専決処分の承認 (後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	29	令和2年度一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6月定例会	30	債権の管理に関する条例及び町営住宅条件の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	31	手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	32~68	農業委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	69	令和2年度一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
70	令和2年度一般会計補正予算(第4号) ※追加議案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。

同意した議案第32号から第68号までの農業委員会委員

大串勝氏、溝口恭磨氏、溝上博信氏、藤井啓二氏、淵上誠氏、土井哲夫氏、筒井政信氏、外尾正則氏、外尾美津子氏、山下正行氏、川崎照子氏、松尾利助氏、川崎敏樹氏、川崎勝巳氏、香月伸幸氏、香月幸雄氏、中村康則氏、森口弘実氏、田口千津子氏、池上勝文氏、津田保氏、久原勤氏、江口和広氏、木下善明氏、津田裕之氏、溝口俊弘氏、片刈久司氏、片刈秋正氏、森邦之氏、川崎正明氏、橋本重吉氏、香月藤芳氏、岩石学氏、光武直広氏、一ノ瀬美佐子氏、川崎哲朗氏、香月一夫氏



産業建設常任委員会代表質問



左から、西山清則、前田弘次郎、井崎好信、大串武次、川崎一平
質問は、川崎一平議員、西山清則議員がおこないました。

問 本町独自の農家への支援策は

答 農家が経営意欲を失わない支援策を考える

- 議員** 感染症拡大による農畜産業への影響と対策など次のことについて問う。
- ① 農業者の実態把握
 - ② 農家への本町独自の対策
 - ③ 畜産業への支援策
 - ④ 休業要請に伴う道の

議員 感染拡大による農畜産業への影響と対策など次のことについて問う。

町長 農業者の方々にとっては大変厳しい状況であることは認識している。玉ねぎについては、飲食店の休業や学校給食など業務需要

が減少し、家庭消費に向かない大玉の生産が多いことにより販売単価が下落した。このような状況の中、18年ぶりに緊急需給調整も発動された。畜産においても枝肉価格が下落し、経営悪化を懸念している。また、花きも3月以降の出荷に影響が出ている。農家が経営意欲を失わないような支援が必要と考えている。

農業振興課長 農業者へは、まず持続化給付金をはじめとした国の支援策や県の支援策の周知徹底を行い、申請に係る支援を行う。その制度により手が届かなかったところに町独自の支援を検討したい。

農産農家へは、国の支援金や制度資金などがある。同じくその制度により手が届かなかったところに町独自の支援を検討する。

商工観光課長 道の駅しろいしは、県からの

休業要請を受け15日間休業された。約1千6百万円の売上げ減少を見込んで、出荷先におかれては、販売先がないことが一番の問題であったと考えられる。その対策として、県では県内5箇所の青果市場で農産物を引き受けていただけるよう調整された。

ふるさと納税のPRについては、首都圏でのフェアに併せておこなっていたが、今年は宣伝活動ができない状況である。については、関東・関西圏のふるさと会員を通じて、PRの協力ができないか考えている。寄附金の活用は、寄附者の意向に沿った事業に活用することとされており、農業振興に係る財源としても活用されている。これからも、財源確保に努めていく。



問 商工業への支援策は

答 事業を継続できるような支援をしていく

- 議員** 飲食業を中心として売り上げの減少など大きな影響を受けた。商工業への支援策など次のことについて問う。
- ① 商工業者の実態と声
 - ② 本町で休業要請となった飲食店の状況
 - ③ 事業者支援策の周知と支援
 - ④ 学校給食納入業者への支援
 - ⑤ 地方創生臨時交付金による支援策

町長 ささまざまな業種の皆様から意見をいただいている。飲食業の売上げ減少に伴い、酒・食品小売り、スナック、バー、タクシー、代行業にも影響が及んでいる。各事業者が、この困難を乗り越え事業を継続できるような支援をしていく。

町長 地方創生臨時交付金の対象事業としては、国が定める緊急経済に該当する事業が対象となる。本町では、限定プレミアム商品券発行事業、「学校給食無償化」、「ふるさと飲食店応援事業」、「白石町事業継続応援金」を計画しており、今後

商工観光課長 休業等の状況は、商工会員の55事業所に協力いただいたことのみ把握している。

国・県の事業者支援については、県内に7箇所のサポート会場を設置されている。

学校給食納入業者への支援としては、白石町事業継続応援金を交付している。

町長 地方創生臨時交付金の対象事業としては、国が定める緊急経済に該当する事業が対象となる。本町では、限定プレミアム商品券発行事業、「学校給食無償化」、「ふるさと飲食店応援事業」、「白石町事業継続応援金」を計画しており、今後

問 町民の感染症予防意識向上の方策は

答 新しい生活様式を日常生活に取り入れていただくよう、情報提供に努めていく

- 議員** 新型コロナウイルス感染症に係る町民の健康保持について、次のことについて問う。
- ① 町民の感染症予防意識の方策
 - ② マスク等の備蓄状況

と基礎疾患を持つ方への対処

- ③ 医療機関の状況
- ④ 保育施設の状態
- ⑤ 予防接種や住民健診の対策
- ⑥ サロンや介護予防事業への影響

⑦ 一人暮らし高齢者の心身への影響

⑧ 障がい者への周知と対応

町長 町民の予防意識の方策については、チラシを各戸に配布し、ケーブルテレビ等を活用し周知した。熱中症予防と併せて、引き続き色んな媒体を活用しながら情報提供に努めていく。

保健福祉課長 3月中旬から基礎疾患を持つ方や福祉施設などへマスクを約4万5千枚提供した。町へ寄贈いただいたマスクを含め約3万枚を備蓄している。

医療機関においては、国の感染症対策の指針等に基づき、院内感染が発生しないよう十分な対策がとられている。

保育施設については、登園自粛の協力要請を行い、多くの保護者に協力いただいた。予防接種は、医師と連携しながら、必要性を

説明して、受けていただくよう伝えている。住民健診は予約制で実施する。できるだけ早い時期の実施を考えている。

長寿社会課長 サロンは5月末まで休止していた。その後、感染予防対策が整ったところから再開されている。介護予防教室は継続していただいております。生かぎデイサービスは5月26日から再開されている。

一人暮らし高齢者の心身への影響は大きく、要支援者へはケアマネジャーが精神面への支援を行っている。

障がい者への周知方法は、国の事務連絡に基づき対応している。来庁者へは筆談や携帯補聴器を用いるなど配慮に努めている。

問 感染症の拡大が教育現場へ与えた影響と対策は

答 学習の遅れの解消の学習内容の定着を図るため夏休みを短縮する

- 議員** 教育への影響など次のことについて問う。
- ① 休校に伴う対応と支援策
 - ② 学習の遅れの対策
 - ③ オンライン授業への取り組み
 - ④ 学校現場における3密対策と教職員の感染予防
 - ⑤ 人権を守る意識の醸成

オンライン授業の必要性は十分認識し調査中。現在は授業数の確保が喫緊の課題であるため、現場の負担を考慮すると慎重にならざるを得ない。

教室では、3密を避けるために、なるべく1人以上の間隔をとるよう配置している。エアコンを使用するとも定期的な換気を行う。教職員はマスク着用や手洗いの徹底など、感染予防対策を率先して実践する。

学校や社会教育の場においても、人権教育の浸透を図り、誤った知識や不当な差別や偏見、いじめなどないよう努める。

文教厚生常任委員会代表質問



左から中村秀子、友田香将雄、吉岡英允、溝上良夫、草場祥則
質問は、吉岡英允議員、中村秀子議員がおこないました。

医療機関においては、国の感染症対策の指針等に基づき、院内感染が発生しないよう十分な対策がとられている。

保育施設については、登園自粛の協力要請を行い、多くの保護者に協力いただいた。予防接種は、医師と連携しながら、必要性を

説明して、受けていただくよう伝えている。住民健診は予約制で実施する。できるだけ早い時期の実施を考えている。

長寿社会課長 サロンは5月末まで休止していた。その後、感染予防対策が整ったところから再開されている。介護予防教室は継続していただいております。生かぎデイサービスは5月26日から再開されている。

一人暮らし高齢者の心身への影響は大きく、要支援者へはケアマネジャーが精神面への支援を行っている。

障がい者への周知方法は、国の事務連絡に基づき対応している。来庁者へは筆談や携帯補聴器を用いるなど配慮に努めている。

議員 教育への影響など次のことについて問う。

- ① 休校に伴う対応と支援策
- ② 学習の遅れの対策
- ③ オンライン授業への取り組み
- ④ 学校現場における3密対策と教職員の感染予防
- ⑤ 人権を守る意識の醸成

オンライン授業の必要性は十分認識し調査中。現在は授業数の確保が喫緊の課題であるため、現場の負担を考慮すると慎重にならざるを得ない。

教室では、3密を避けるために、なるべく1人以上の間隔をとるよう配置している。エアコンを使用するとも定期的な換気を行う。教職員はマスク着用や手洗いの徹底など、感染予防対策を率先して実践する。

学校や社会教育の場においても、人権教育の浸透を図り、誤った知識や不当な差別や偏見、いじめなどないよう努める。



総務常任委員会

議会活性化の取り組みについて視察

2月10日、有田町役場を視察した。議会改革の一環としてペーパーレス会議システムを導入されていた。執行部と同時に導入され、議会運営や事務の効率化に繋がっていることの説明を受けた。

また、資料検索やインターネットによる調査ができ、職員の事務負担軽減や差し替えの手間の削減、非常時の情報提供が迅速にできる機能があることがわかった。

総務常任委員会では、執行部の負担軽減につながるシステムの導入について研究していきたい。



●有田町議会との意見交換

文教厚生常任委員会

学校統合再編について教育委員と意見交換

2月21日、学校統合再編について教育長・教育委員・担当職員との意見交換を行った。開校するまでのスケジュール等や、これからの課題・問題点等について話し合った。今後の児童数の推移を見極めながら、より良い教育環境の維持と整備に努めていただきたい旨を要望した。

文教厚生常任委員会では、地域振興と併せて教育が充実するまちづくりを提言していききたい。



●本町教育委員との意見交換

産業建設常任委員会

定住促進住宅整備事業について視察

1月27日、太良町役場を視察した。定住促進住宅の建設から維持管理をPFI方式により民間へ委託されている説明を受けた。家賃の低減化と合わせて、子育て世代に手厚い支援をおこなうことにより、人口減少対策に取り組みられている町の状況の報告もあった。

産業建設常任委員会では、各自自治体の取り組みを参考とし、本町の産業を活かした定住促進策の提言につなげていきたい。



●太良町の定住促進住宅整備事業について説明を受ける

※PFI（プライベート・ファイナンス・インシアティブ）とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法



議会出前講座

廻里、牛屋東分、川津の地区に出向きました。町政全般、行政サービス、議会活動、課改正、いこカー制度、学校統廃合経過報告、子育て包括支援センター、婚活、道の駅運営状況、ふるさと納税、農業塾などについて意見交換を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、現在議会出前講座は一時休止しております。再開時期については、改めてお知らせします。

1月15日(水)

廻里老人会(会員40人)



出席議員 井崎好信、吉岡英介、重富邦夫、友田香将雄

1月16日(木)

牛屋東分老人クラブ(会員45人)



出席議員 草場祥則、大串武次、川崎一平、溝口誠、中村秀子

2月17日(月)

川津老人クラブ(会員45人)



出席議員 内野さよ子、定松弘介、西山清則、前田弘次郎



要望書を受け取りました

●町道太原小島線の拡幅に関する要望

提出者 小島区長 松尾 保
有明久治区長 溝上和義

●町内建設業者の育成と建設労働者の雇用確保のための配慮の要望

提出者 白石町建設業組合 会長 溝口隆治

●組合員負担軽減のため経常賦課金一部減免に係る財政支援の要望

提出者 白石土地改良区理事長 田島健一

編集後記



今回の議会だよりについては、町広報紙に挟み込む形で発行しましたことについて、お詫び申し上げます。今後も臨時議会の報告は町広報紙を活用したり、工夫を重ねながら議会広報の充実に努めてまいります。

また、今回の6月議会は新型コロナウイルス感染症対策により、今まで経験したことがない議会対応でした。それにより、議会だよりの内容も今までとは違うものになっていますのがご了承ください。一日でも早く新型コロナウイルスが終息し、新薬とワクチンができるのを願いながら筆をおきます。

編集委員会一同

議会戦隊 炊飯ジャー

作: Sachiemon

第26話「先議」



※先議：緊急を要する議案について、予め予定された採決日によらず会期の途中で議決をすることをいう。



白石町議会だより/第61号

発行/白石町議会 佐賀県杵島郡白石町大字福田1247-1
TEL 0952-84-7126 FAX 0952-84-6611

編集/議会広報特別委員会

責任者/白石町議会議長片淵栄二郎

編集委員/委員長	前田弘次郎
副委員長	友田香将雄
委員	川崎一平
〃	定松弘介
〃	中村秀子
〃	重富邦夫